



NHN Japan 株式会社

NAVER まとめ

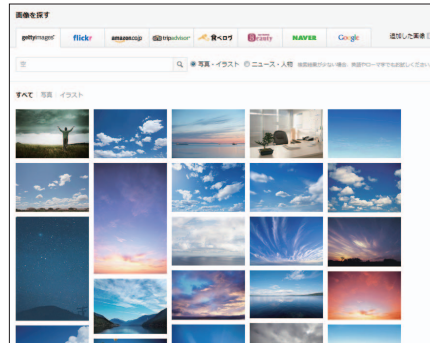
月間 10 億 PV に手の届くマンモスポータルを、
イメージクラウドでビジュアルサポート。

わからないことがあったら検索サイトを利用し、買いたい新商品は口コミサイトでチェック。友達の行動はソーシャルネットワークで確認できる、と、いまや「なくてはならない」という表現すら陳腐化するほど、われわれの生活に密接しているインターネット。ところが集まった情報があまりに膨大なゆえに、「自分にとって何が必要なのか?」という情報の分類と整理整頓が非常に難しくなり、自分の求めるピンポイント情報をユーザ自身で探し出し、整理して管理することが難しくなってしまった。

そんな中、NHN Japan 株式会社（以下 NHN）の提供する「NAVER まとめ（以下、「まとめ」）」は、実際のユーザが自分なりに情報を整理し、編集・公開することで主体的に情報をナビゲートするという今までにない「情報キュレーション」型のポータルサイトとして人気を博し、1 ヶ月に 8 億 PV をたたき出すマンモスサイトへと成長し、今現在も成長を続けている。

テクノロジーだけでは提供しえない、
知見を備えた人肌感覚のある、
そんなく人型エンジン>を。

「われわれが目指すのは情報で人の役に立つことです。その方向性として、例えば検索エンジンのように技術で画一的に、例えば被リンク数で数的に順位付けをするのではなく、それ以上の付加価値の提供を目指しています」と語るのは今回インタビューをさせていただいた、島村武志執行役員だ。「例えばおいしいラーメンが食べたいと思ったとき、ネット上の順位以上に、実際に行った人が感じたこと、生の意見の書き込みのほうが自分にとってためになった、そういった体験をした方も多いのではないのでしょうか。人の知見を介した、いわばく人型エンジン>というような、そんなサービスの構築を考えています」



自分の目で選んだ情報を編集し、他者をナビゲーションする情報化社会においては、いわば個人はひとつのメディアである、と、島村氏は語る。「メディアとして人をひきつけ、端的に伝えるにはインパクトある、強いビジュアルは欠かせません。しかし大手のメディアと異なり、まとめのユーザはあくまで個人です。使いたいイメージを自分で用意したり、ネット上で見つけた素材の利用許可を取るのは非常に大変です。この部分を会社として、「まとめ」が補足できたら、というのが、今回のプロジェクトの発端でした」

ユーザには安心して情報キュレーションに集中して欲しい。ビジュアルについて、例えば著作権についての専門知識を期待したり、万人をうならせる優れたビジュアルを撮影することを求めるのは「まとめ」の本意ではないと島村氏は語る。「個人が全部用意をするのではなく、集合の中で持ち味を発揮しあう。安心した質の高いコンテンツを「まとめ」がゲッティイメージズと共にユーザに提供し、ユーザは品質の高いまとめ記事を生成できる。これがクリーンな「まとめ」の到達すべき「次世代メディア」としてのエコシステムです。



島村 武志氏

執行役員

執行役員/CPO

ウェブサービス本部

サービス企画1室 室長



公式素材としてGetty イメージズを選択。 イメージの持つ力を、 次世代メディアとしての「まとめ」に。

個人メディアとしての「まとめ」ユーザを会社としてどう支援すべきか、その際にGetty イメージズとの協業可能性を考えたという島村氏。「TVなどで写真にGetty イメージズ、とクレジットがあるのを見て、メディアがGetty イメージズからコンテンツの提供を受けてプロとして番組を作る、この仕組みは「まとめ」でも使えるな、と、考えてコンタクトしました。無理だと断られて当然なのではとの懸念もありましたが、直接コンタクトをしたところ、Getty イメージズとしても非常に面白い取り組みであるという感触だったようで、それからはスムーズに進みました。現在大量の情報が氾濫している中で、人がひとつの情報に接してられる時間はどんどん短くなっていると感じます。その限られた時間で説得力を最大化するには、クオリティの高いビジュアルは不可欠だと思います」島村氏はGetty イメージズの素材の質には満足であるという。「とにかく、素材のクオリティは高いです。やはりプロの仕事だな、というのを感じました。例えばプレゼントを渡すときに、同じ中身であっても美しい包装をして届けることで、ワクワク感が演出できると思います。逆にどれだけ中身が素晴らしくとも、ぞんざいに新聞紙にくるまれていては、ありがたさも損なわれてしまいます。Getty イメージズのクオリティの高い写真はまさに、「まとめ」を素敵に包装する演出と同じです」

「まとめ」が利用しているのは、Getty イメージズの提供するAPIソリューション、「コネクト」だ。これは一種のクラウドサービスで、API経由でGetty イメージズの写真データベースにアクセスし、メタタグを利用して検索した

り、ダウンロードして利用する機能を提供している。CMS（コンテンツ・マネージメント・システム）やテンプレートに組み込めば管理者やユーザが自由にページ上でGetty イメージズの写真を使ったコンテンツを生成できるし、e-コマースサイトで利用して、写真のついた製品をプリント・オン・デマンドで制作・販売できる。

<https://api.gettyimages.com/>

「まとめ」ユーザは自分の記事を投稿する際に、インパクトある写真素材を自分で選び、記事に添付して公開することが出来る。Getty イメージズで提供されている素材は通常は有料だが、「まとめ」がライセンスした素材を提供する形になるため、ユーザは使用料などを払う必要はない。Getty イメージズの数万点の写真やイラストを自由に利用して、クリエイティブに自身の記事を編集できるのだ。

時代の先端でサービスを提供し、ますます勢いに乗る「まとめ」はどこに行くのか？最後に島村氏に「まとめ」の向かう場所について伺ってみた。

「基本スタンスはお客様のニーズに応えることです。これはオンラインの特性ですが、人気がある記事にはアクセスが集まり、そのログが取れるので人気は一目瞭然です。ただこれだけをよりどころとすると、自然に絶対に個人が勝てないような場面も生じます。例えば芸能人のゴシップ記事のような。今後は数字の評価以外にも、「まとめ」として注力したいテーマやジャンルを募集したり、キュレータを育成するなどして、さらに質の高いサイトを目指します」

ユーザの質の高いコンテンツ作成を、企業として真摯に支援しようとする「まとめ」。次世代メディアとして、Getty イメージズのキービジュアルとともに、さらなる飛躍を目指す。

→ 会社概要

NHN Japan株式会社は、ゲーム、検索・ポータル、メディア、マッチングなどインターネットを活用した多様なサービスを提供する総合インターネット企業です。スマートフォンアプリのダウンロード数は全サービス合計で1億件を超えるほか、PCのユニークユーザー数では約4,719万人と国内第5位の規模となっています。

→ 企業情報

会社名： NHN Japan 株式会社

設立： 2000年9月4日

（2003年8月28日、ハンゲームジャパン株式会社から商号変更）

所在地： 渋谷オフィス 〒150-8510 東京都渋谷区渋谷
2-21-1 渋谷ヒカリエ 27階

東新宿オフィス 〒160-0022 東京都新宿区新宿
6-27-30 新宿イーストサイドスクエア 3階

代表者： 代表取締役社長 森川 亮

URL： <http://www.nhncorp.jp/>